

農村の活性化と都市農業の理解
促進に向けた
新たな協同をめざして



創刊号

2013年08月発行

会報誌の名前、募集します！



7月4日 JAセレサ川崎・JA京都やましろ交流ツアーの様子



JA都市農村交流全国協議会

JA都市農村交流全国協議会 会報誌について

本年度より、会員への活動支援の一環として、会・会員活動の報告をはじめ各種情報提供のため、会報誌を年4回(5月、8月、11月、2月)発行いたします。

会員相互、会員・外部団体など様々な「交流」を促進するため、役に立つ・面白い・興味をもってもらえる様、事務局としてはアンテナを高くて、情報収集に励みます。

なお、会員皆さまからの活動報告やお悩み相談なども事務局へお寄せ頂きます様、よろしくお願い申し上げます。

JA都市農村交流全国協議会事務局

~~会報誌の主な構成~~

《会員活動》

本協議会会員の取り組み事例をご紹介します。

皆さまから寄せられた情報やメディア掲載記事などを参考に事務局が選定させていただきます。

《研修会のご案内》

本協議会では、都市農村交流の活動に必要なスキル習得のための研修会を年2回(9月、11月下旬)開催を予定しています。その他、意見交換集会も年1回(3月)開催を予定しています。

それらの開催情報を掲載して参りますので、是非ともご参加ください。

《調査・研究》

会員の皆さんの興味・関心の高い話題、世間での流行りなど、事務局でテーマを決めて取材を行い、最新情報や役立つ情報を掲載して参ります。知りたい・気になる事柄がありましたらお気軽に事務局まで!

《絆レポート》

東日本大震災から3年が経過しましたが、JAグループの復興・復旧のための支援活動は続いています。

この「絆」の「交流」に関して、被災地の現状や支援活動の最前線の情報をご紹介します。

《くらしの活動情報》

JA食農教育、高齢者対策、女性協などに関する情報もご紹介して参ります。

《JA交流事業》

「人・モノ・情報そして思い」が交流する「JA交流事業」の実践事例をご紹介します。

《お知らせ》

本協議会からの会員皆さんへ是非お知らせした情報を掲載いたします。



オープン5年で売上10億！

当会報誌では協議会会員の皆さんの活動をご紹介します。初回は、直売所とレストランを拠点として、様々な「交流」を展開している滋賀県の『JAファーマーズマーケットおうみんち』の川端部長、新野店長のお二方に取材をさせていただきました。

取材のきっかけとなったのは、今年の5月に農文協より発行された「直売所レストラン成功のレシピ」という一冊の本でした。この本は、「おうみんち」のオープン5周年を記念して制作され、開設のご苦労から、個性豊かなスタッフの皆さんの仕事へ取り組む姿勢、出荷者と消費者の方々との関わり方が非常に分かりやすく描かれています。今回はその中から「青空フィットネスクラブ」というユニークなネーミングの取り組みをご紹介します。



青空フィットネスクラブ！

「おうみんち」では、農業体験イベントやスイーツおよび郷土料理試食会・料理教室、栄養の勉強会など様々な暮らし支援の学習会を、年3～4回程度実施し、その参加者を会員化を図り、各種開催案内などを配信しています。その会を「青空フィットネスクラブ」と呼んでいます。

元々は、お客さんが出荷者の畑で収穫を手伝う一日の援農イベントでした。収穫作業や袋詰めなどの出荷者の作業の人手不足へのアイデアとして、お客さんに体を動かして心身共にリフレッシュして貰うことから、このネーミングを付けられました。大阪や京都から参加する方もあり、まさに都市と農村交流になっています。お客さんと生産者がお互いに得られるものも多く、真の交流が生まれています。

《研修会のご案内》



基礎研修会Ⅱ

情報発信のお役に立ちます

これから年末に向けて、JAグループでは、組合員・地域住民の方々との「交流」の催し・イベントが多数計画されていると思います。その際、催し・イベントへの参加者を募るための告知には御苦労されているご担当者も少なくないはずです。

今回の研修会では、そのようなお悩みに対してお役にたてる研修内容になっております。

JAの取り組み事例では、広報の先進的な取り組みをされている神奈川県からJAさがみの発表、農業新聞からはJAグループのホームページ制作部門よりWEBの活用法などについての講演があります。さらに民間から2名の講師をお招きして開催いたします。

毎日新聞・元楽天トラベル役員

紙面で「田舎に行こう」を特集・連載している毎日新聞社より報道の第一線でご活躍され、編成編集局の現役部長よりマスコミへの有効なアプローチ方法などの講座、さらにネット業界の雄・楽天グループで執行役員を経て起業し、IT業界でご活躍され、WEBでの新たな動きを創造しているIT企業社長より最先端のIT事情をはじめWEBの活用などの実務も加えた講座を準備しています。

都市農村交流・食農教育、さらには企画・広報部門のご担当者にもお役に立つ内容になっておりますので、是非ともお一人でも多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

詳細は、本協議会公式HPをご覧ください。<http://ja-koryu.com/>

《調査・研究》



テーマ：婚活

婚活に関する調査開始

本協議会事務局としては、「交流」として、担い手の方々と将来のパートナーとのマッチングの場づくりも重要であると考えています。

最近「婚活」と言われ、TVの特番や結婚相談所などでもマッチング企画は、頻繁に行われています。JAにおいても結婚相談員の活動や婚活イベントなど取り組まれているお話を伺います。今後、この交流が活発に行われる一助となるべく、本協議会としても現状を調査しながら、新たな企画・仕組みなどをご提案してまいりたいと考えています。事務局独自の取材として、民間企業や行政なども予定していますが、会員の皆様からの情報提供も大歓迎です。よろしくお願い致します。

【取材予定先】

株式会社ツヴァイ
(イオングループの結婚相談所)

<http://www.zwei.com/>

《絆レポート》

絆

J Aグループ支援隊

東日本大震災被災地の今

あれから3年目を迎えましたが、全国各地から東北被災3県へJ Aグループ支援隊として、ボランティアを派遣しています。

ボランティアの作業内容は、23年度は車や流木など大きな瓦礫撤去＝災害ボランティアが主でした。

24年度からは営農再開へのお手伝い＝営農ボランティアとなり、農地復旧作業（＝細かい瓦礫拾い）・ハウス組立てなどを行ないました。

25年度は被災地域・被災農家の生活もようやく再建へ向かっており、営農再開者も増え農地復旧作業など継続して活動中です。

支援隊として現地を訪れることで、作業以外のふれあいも生まれています。

それぞれ都道府県・全国連として、J Aグループ支援隊を計画し取組まれています。

（情報提供：農協観光 工藤篤志さん）



《くらしの活動情報》

J A食農教育推進セミナー

学校とJ Aとの連携を全国へ

J A食農教育の質的向上とJ Aグループの一体的な推進をはかるため、学校とJ Aの連携をひろげること、効果的な食農体験学習の企画づくり、次世代と保護者がJ Aファンになってもらうことを目指し、「J A食農教育推進セミナー」が10月10日（木）～11日（金）の2日間にわたり開催されます。

当研修会は、全中「研修会システム」上からお申込みが出来ます。研修会システムが導入されていないJ A等につきましては、都道府県中央会による代行入力をお願いしております。

J A実践報告

2つのJ Aより実践報告として、神奈川県・J Aはだの宮永参事より「J A食農教育の多角的な展開」について、岐阜県・J Aめぐみの総合企画部PR対策課・小林課長より「支店の利用者を増やすための活動」についての発表を予定しています。

記念講演

学校とJ Aの連携に関して、福島県の喜多方市教育部学校教育課の渡部主査より「喜多方市小学校・農業科の取り組み」を発表いただきます。

《JA交流事業》

JAセレサ川崎・JA京都やましろ



直売所での交流がきっかけ！

JAセレサ川崎の直売所「セレサモス」にて、JA京都やましろの特産品である「宇治茶」の普及のために即売会を行ったことがきっかけで、セレサモスのお客さまを宇治茶の本場京都で体験するツアーが企画されました。

JA京都やましろでは、現在もセレサモスの催しの際は、宇治茶のファンづくりのために、工夫を凝らして出店をされています。



セレサモス
催しへ出店
の様子



宇治茶の郷と情（こころ）を訪ねる

ツアーは、本年7月のお茶の最盛期に、宇治茶の本場・京都のJA京都やましろにて、神奈川県の子JAセレサ川崎の組合員を中心とした32名が、宇治茶の魅力を体験しました。

宇治茶の魅力は匠より伝達

体験の内容は、宇治茶の魅力を伝えるために、農林水産省から「農業技術の匠」に選定された茶匠・下岡久五郎さんによる講話やお茶の淹れ方・お茶摘み体験が行われました。



下岡さん
によるお
茶の講座

女性部の
おばんざい
弁当



また、女性部による地元食材をふんだんに活用した“京都おばんざい弁当”など、多彩な企画が盛り込まれました。JAセレサ川崎は、このツアーの他にも女性部や総合相談担当者の研修でも京都へ訪れ、JA京都やましろとの交流が行われました。



ツアーチラシ

《お知らせ①》



新たな情報発信の手法

WEBを活用した新たな手法

都市と農村の交流をはじめ、様々な交流がありますが、不特定多数の地域内外の住民の方々の参加を募る企画も多数あると思います。例えば、JAまつりや農業体験、料理教室、さらには直売所イベント、観光農園など情報の拡散による集客強化は重要な要素と言えます。

このたび、集客対策の新たな手法としてWEBサイト「JOINTly GREEN」(ジョイントリーグリーン)をご紹介します(本年10月オープン予定)

無料で手軽に利用できるシステム

当サイトは、イベント主催者がいつでも手軽にイベント情報をWEBサイトへ登録し掲載できるシステムです。ネットで情報を得る次世代への情報発信としても有効な手段が、無料でご利用いただけます。

業務軽減にもお役立ち

また、有料サービスとなりますが、「受付代行」の機能があります。この機能は、掲載したイベント情報のページから参加受付を出来るものです。WEBでの受付業務のイベント主催者のメリットとしては、従来電話での受付と比較をすると、1) 電話対応時間の

軽減 2) 予約受付可能人員設定がシステム管理のため、予約超過の防止 3) 受付データが電子データ管理のため、名簿作成の業務が軽減 など業務効率化・軽減につながります。

また、参加者にとっては、JAの営業時間外・定休日でも予約が出来、20～40代の社会人や子育て世代には喜ばれるサービスになります。

当システムに関する詳細は、本協議会のホームページやeメールなどを通じて、会員の皆さんへご案内をさせていただきます。(9/20開催の基礎研修会Ⅱでもご案内します)

本協議会会員特典

当システムの活用にあたっては、本協議会の会員特典も設けさせていただきますので、是非とも有効にご活用ください。

サイト利用案内チラシイメージ

《お知らせ②》



広報誌の名前を決めてください！

J A都市農村交流全国協議会の会報誌を創刊しました。皆さんにご愛読いただける会報誌の名前を募集します。是非とも多数のご応募をお待ちしております。

【応募方法】

全中事務局宛てにeメールにてご応募ください。

【記載事項】

①会報誌名

(その意味合いなどありましたらご記入ください)

②所属組織名(会社名)

③氏名

④連絡先(電話番号)

【応募締切】

平成25年10月4日(金)事務局必着

【発表】

本会報誌第2号(平成25年11月発行)の誌面

※会報誌の名前を採用された方には、副賞として

「食事券3千円分(ジェフグルメカード)を進呈!

J A都市農村交流全国協議会 事務局 (J A全中 食農・くらしの対策課)

HP : <http://ja-koryu.com/> TEL03 (6665) 6240 (代) 担当: 石井・香取

*掲載内容に関するご意見・ご質問など、お気軽にお問い合わせ下さい。